

事務事業名 病児保育事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1147

施策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030205-14-244
基本事業：	03	地域における子育て支援	担当部	こども部
基本事業の成果指標	急用時等に子どもを預ける場所がある又は人がいる保護者の割合 他の親子と交流している乳幼児をもつ保護者の割合		担当課	こども政策課
			担当係	保育担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成20年度	～	新規・継続	継続	会計区分		実施計画	○	
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
生後90日から小学校6年生までの児童及び保護者			（事業内容）疾病にかかり他の児童との集団生活が困難な児童について、症状の急変が認められない場合に病院等に併設した施設で預かる。 （対象）生後90日から小学校6年生までの児童 （実施施設）キッズケア二日市（山田小児科医院） ちくしのキッズデイケアハウス（もり小児科医院） （利用料金）児童1人につき1日 2,000円 ただし、生活保護世帯は無料、市民税非課税世帯は1,000円 （利用時間）平日8:30～17:30（土日祝日、お盆、年末年始、医院休診日を除く。） 【根拠法令】筑紫野市病児保育事業実施規則 【補助金】・子ども・子育て支援交付金（国1/3） ・福岡県病児保育事業費補助金（県1/3） ・福岡県病児保育保育利用料無償化事業（県10/10）						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
対象児童の保護者が仕事を休まずに、児童を病院及び診療所に併設した施設に預けることができる。									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
病児保育利用児童数		人	309	693	600	600			600
病児保育利用登録児童数		人	253	455	300	300			300
5．コスト									
事業費		計	千円	12,835	14,178	14,200	16,608		
		国	千円	4,278	4,272	4,249	4,274		
		県	千円	4,278	5,633	5,649	6,434		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	764		
		一般	千円	4,279	4,273	4,302	5,136		
正職員人工数		人工	0.2	0.2	0.2				
正職員人件費		千円	1,546	1,563	1,605				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	14,381	15,741	15,805	16,608			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
●あがっている		（状況）令和5年度に利用児童数及び利用登録児童数が大幅に増加した。 （原因）福岡県が県内の病児保育の利用料を無償化する事業を開始したこと、また、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となったことが児童数の増加の原因と考えられる。							
○どちらかといえばあがっている									
○あがっていない（停滞・低下）									
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	登録児童数及び利用者の増加に向け、利用の周知を図るとともに、今後の推移を見守っていく。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄					
「病気の回復期にある児童を預かって欲しい」との保護者からの強い要望を受け、H20年度にもり小児科、平成21年度に山田小児科医院にて病後児保育事業を開始。H27年度から、受け入れ対象年齢が小学3年生までから6年生までに拡大され、H30年度から病後児保育から病児保育へ変更し事業の拡充を行った。				令和5年度から福岡県病児保育利用料無償化事業が開始し、上限2000円/日までの利用料が無償化された。					